

平成28年度決算報告

経常収支差引残高は5,959万円の経常黒字となりました

＜一般勘定・収支決算状況＞

平成28年度は、前年度保険料率81/1000(含、調整保険料)を維持し、保険料収入は13億6,980万円、別途積立金繰入3,414万円、国庫補助金1,950万円で、収入総額は前年度比1億4,989万円減の14億4,899万円でした。

一方支出では、高齢者医療納付金は前年度に比べ約2億円減少し、4億3,000万円でしたが、保険給付費は約3,500万円増加の7億3,381万円と2年続けての増額となりました。保健事業費は9,103万円を支出、各種健診などの事業を積極的に展開し、健診受診率の向上が図られました。支出総額は13億2,264万円、前年度比約1億6,000万円減少となりました。

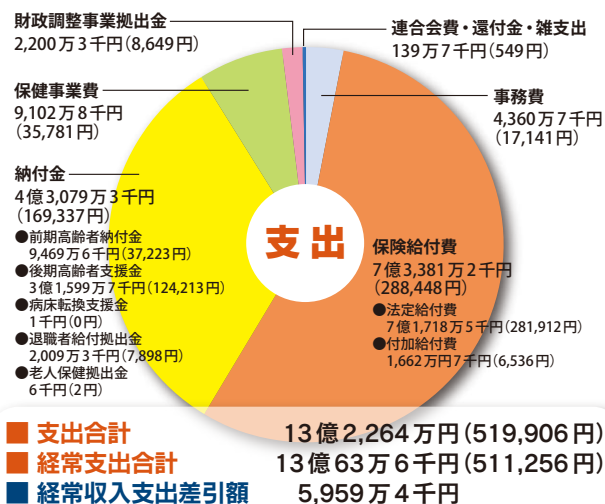
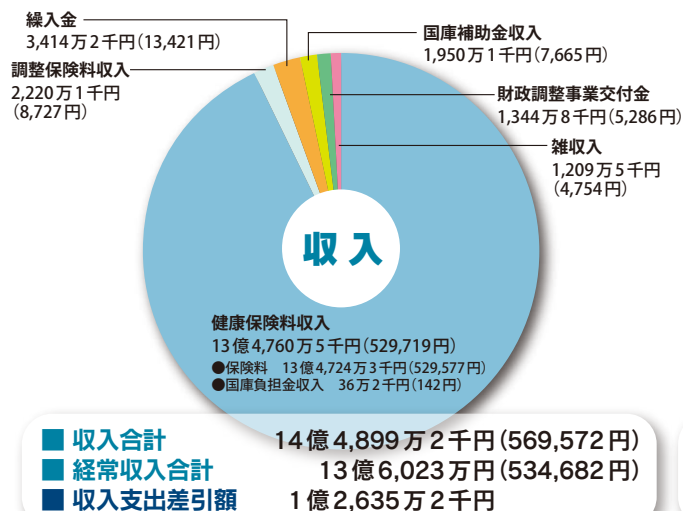
収入支出差引額は1億2,635万円の黒字、経常収入支出差引額においても5,959万円の黒字決算となりました。しかしながら、保険給付費の増加、そして高齢者医療への負担金増加、とりわけ高齢扶養家族の医療費が連動して算出される前期高齢者納付金の大幅な増加が予測されることから、平成30年度においては保険料率を引き上げざるを得ない見通しとなっております。

当健保組合では、さらなる事業運営の効率化を図りつつ、皆さまの疾病予防・健康増進に効果的な保健事業を展開してまいります。皆さまのご理解をお願いするとともに、皆さまにおかれては病気の予防に努めていただき、医療費の節減にご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

平成28年度 収入支出決算

()内は被保険者一人当たり額

一般勘定



介護勘定

収 入	
科 目	予 算 額
介護保険収入	1億2,551万7千円
繰越金・繰入金	1,100万円
収 入 合 計	1億3,651万7千円

支 出	
科 目	予 算 額
介護納付金	1億2,866万円
介護保険料還付金	5千円
支 出 合 計	1億2,866万5千円

■ 収入支出差引額 785万円

決算の基礎数値

被保険者数	男	1,786人
	女	758人
	計	2,544人
被扶養者数		2,637人
平均標準報酬月額		404,880円
保険料率	事業主	39.850/1000
	被保険者	39.850/1000
調整保険料率	事業主	0.650/1000
	被保険者	0.650/1000
第2号被保険者数		2,019人
第2号被保険者たる被保険者数		1,334人
平均標準報酬月額		483,613円
保険料率	事業主	5.750/1000
	被保険者	5.750/1000

介護勘定

社員の2016年度健康診断結果を まとめました

生活習慣病・メタボリックシンドロームの診断に関連する検査結果について、3つのゾーン(安全ゾーン=基準値内、イエローゾーン=保健指導判定値、レッドゾーン=受診勧奨判定値)に属する人数の割合をレーダーチャートに表しました。

- ✓ 男性社員は年齢が上がるにつれ、安全ゾーン(基準値内)割合縮小度が女性社員に比べ顕著
- ✓ 男性は肥満、血糖、脂質に要注意！適正体重を目指しましょう！
- ✓ 過去3年間で男女とも各数値の安全ゾーン(基準値内)割合が向上しているが、HDL コレステロールとHbA1cの項目は、低い割合で推移。

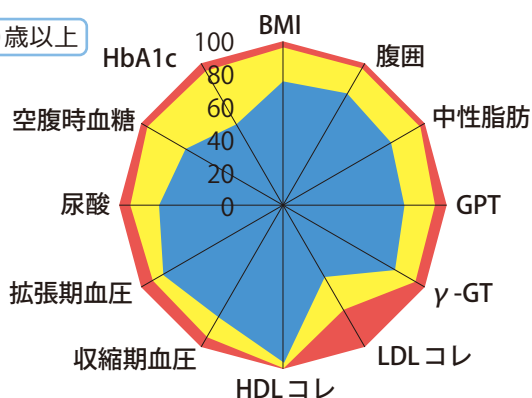
基準値内を目指し、適度な運動・生活習慣改善・適正体重への取り組みが必要です！

どの年代も女性社員より男性社員の安全ゾーン割合が小さくなっています。特に、肥満度・内臓脂肪や、血糖、尿酸値及びLDL(悪玉)コレステロールの値が悪い結果となっています。

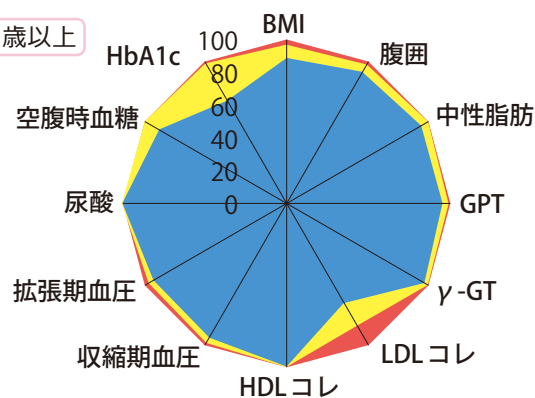
- 血糖値は、ブドウ糖をエネルギーに変えるインスリンの働きが悪くなったり、効き目が弱くなったりすると上がってきます。血糖値が高いと血管が傷つきやすく、全身で血管の損傷が進み、失明、人工透析など合併症のリスクが高まります。
- 尿酸は、食べ物に含まれるプリン体という物質が肝臓で分解されてできたもので、身体にとっては不要な老廃物です。肥満や飲み過ぎなどにより血液中に尿酸が増えてしまうと尿酸は結晶化し、足の関節などにたまって激痛(いわゆる痛風)を招く原因になります。
- LDL(悪玉)コレステロールは血液中の中性脂肪が高い状態を指します。血管がつまりやすく、脳卒中や心筋梗塞を起こすリスクが高くなります。



男性社員 30歳以上



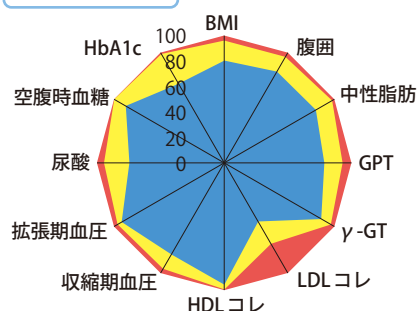
女性社員 30歳以上



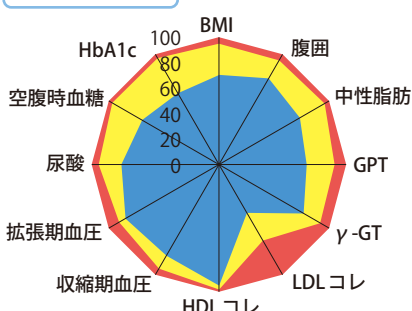
■ レッドゾーン ■ イエローゾーン ■ 安全ゾーン

年代別レーダーチャート「男性」

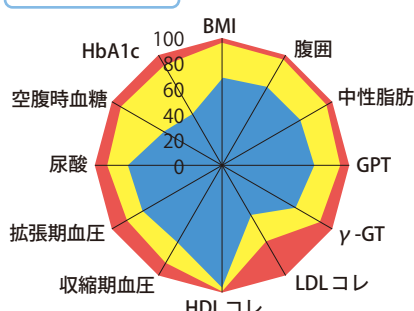
男性社員 30代

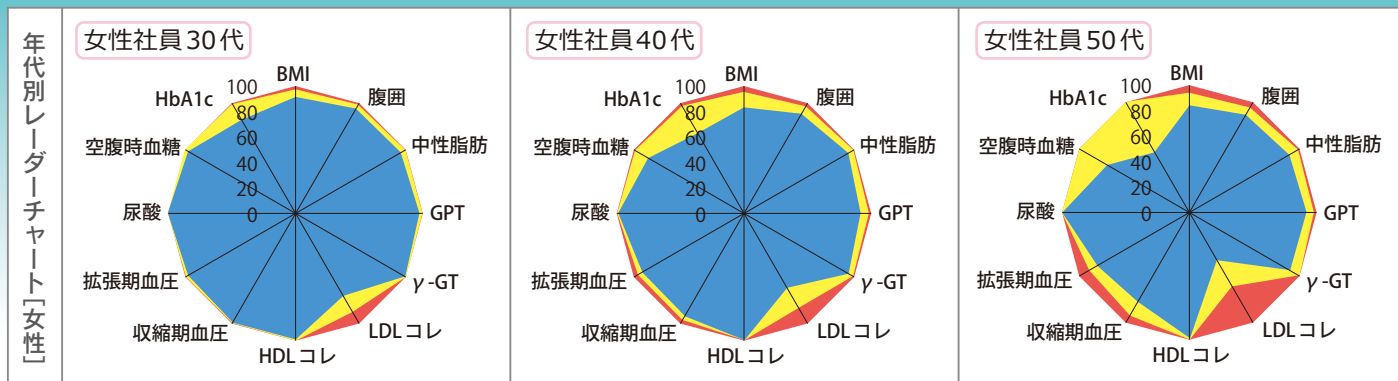


男性社員 40代



男性社員 50代



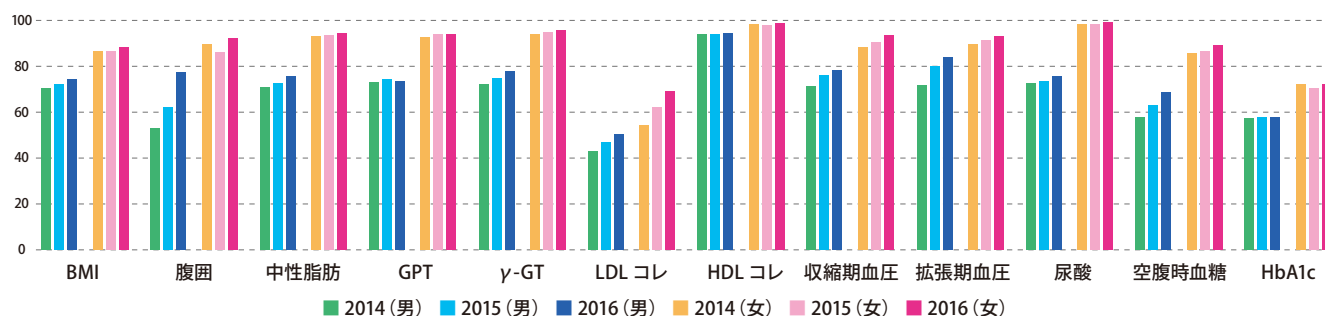


【過去3年間の安全ゾーン(基準値内)割合の推移】

健診結果が安全ゾーンだった方の人数割合を、2014年から2016年の3年間で並べてみました。

年ごとに、ほとんどの項目で安全ゾーンの方が増えています。

しかし、LDL(悪玉)コレステロールとHbA1cの項目は、安全ゾーンの方の割合が低く、特にHbA1cは、この3年間にほとんど変化は見られません。より一層の生活習慣の改善が必要です。



各検査項目の基準値(安全ゾーン)、保健指導判定値(イエローゾーン)及び受診勧奨判定値(レッドゾーン)は以下の表のとおりです

■ 腹囲(単位 cm)・BMI

	基準値	保健指導判定値
腹囲	男性 84 以下 女性 89 以下	男性 85 以上 女性 90 以上
BMI	25 未満	25 以上

■ 血圧(単位 mmHg)

	望ましい 血圧値	基準値	保健指導 判定値	受診勧奨 判定値
収縮期血圧	120 未満	130 未満	130~139	140 以上
拡張期血圧	かつ 80 未満	かつ 85 未満	または 85 以上	または 90 以上

■ 血糖(単位 血糖値 mg/dl・HbA1cはNGSP値)

	基準値	保健指導 判定値	受診勧奨 判定値
空腹時血糖	99 以下	100~125	126 以上
HbA1c	5.5% 以下	5.6~6.4%	6.5% 以上

■ 脂質(単位 mg/dl)

	基準値	保健指導 判定値	受診勧奨 判定値
LDL コレステロール	119 以下	120~139	140 以上
HDL コレステロール	40 以上	39 以下	39 以下
中性脂肪	149 以下	150~299	300 以上

■ 肝機能(単位 U/l)

	基準値	保健指導 判定値	受診勧奨 判定値
AST(GOT)	30 以下	31~50	51 以上
ALT(GPT)	30 以下	31~50	51 以上
γ-GT(γ-GTP)	50 以下	51~100	101 以上

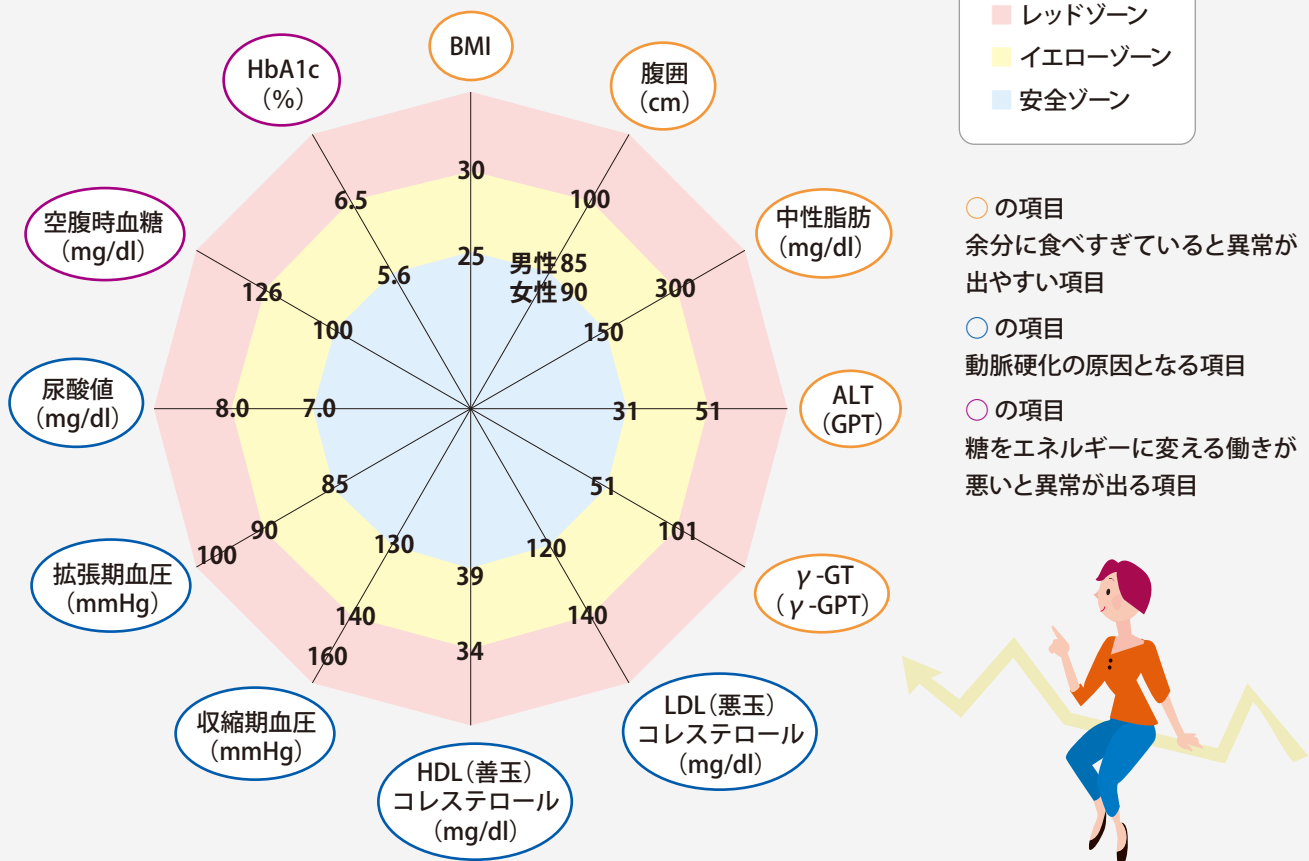
■ 尿酸(単位 mg/dl)

	精密検査 が必要	基準値	生活習慣改善 が必要
尿酸	1.4 以下	1.5~7.0	7.1 以上

健診は「健康力」を高めるチャンスです。 健診結果を見直して、まずできることから始めましょう。

- イエローゾーン、レッドゾーンに該当する項目が多いほど「血管が痛んでいる」証拠であり、将来、脳卒中や心筋梗塞などをおこす危険性が高くなります。
- 肥満の人もそうでない人も、ご自身の健診結果でレーダーチャートを作成し、今一度チェックしてみてください。

【 健診結果レーダーチャート 】



健診の予約はお済みですか？

健康診断は年内に受診していただく必要があります。また、社員の皆さんは年1回の健診が労働安全衛生法により義務付けられております。健保ネットワーク健診(ネスレドック・人間ドック・生活習慣病健診)での受診を考えていらっしゃる方は、できるだけ早めに予約をお済ませください。

ネットワーク健診(ドック・婦人科単独検診)予約サイト／予約センター
 予約サイト：<https://i-wellness-p.com> 予約センター：570-783-186
 「お客様番号」「お名前」「生年月日」「加入健保名」が必要となります。

また、奥様向け(35歳以上の被扶養配偶者)には、ネットワーク健診に加えて、自己負担のない「配偶者スペシャル健診」のご案内も5月にお送りしています。ぜひお早めに健診の予約をお取りください。

★ ネスレ健保の健診情報詳細は健保ホームページの「健診事業のご案内」にてご確認ください ★